

下痢

- ◆下痢の原因には様々なものがあります。原因によって治療や予防が異なりますので、便が軟らかい、色がおかしい、においがきついなど普段と違う場合は、便の検査をしましょう。
- ◆また、よく下痢をしたり、軟便が続く状態を、「おなかが弱いのかな」と軽く考えないようにしましょう。何らかの異常から、下痢が起こっている可能性があります。

下痢の原因ってなんだろう？

細菌

- *腸の中にもともとある細菌のバランスが崩れると、消化・吸収の機能が低下します。
→食事を変えた、環境の変化、ストレス、季節の変わり目など

寄生虫

- *散歩中の、落ちていた便やノミなどから腸に感染します。とくに子犬や子猫はペットショップやブリーダーで感染していることがあります。

食物アレルギー

- *アレルギー体質の場合は、アレルギーの原因となる物質(アレルゲン)を含んだものを食べることで、下痢を起こすことがあります。

ウイルス

- *かなり激しい下痢(血便)と嘔吐が起こることもあります。子犬や子猫では血糖値が下がって、けいれんを起こしたり、死に至る危険性もあります。

中毒

- *動物にとって有害な成分を含んだものを食べて中毒を起こし、下痢をすることがあります。
→たまねぎ、チョコレート、観葉植物(シクラメン、ポインセチア、アンセリウム、カラジウム、アロエ、アサガオなど)、農薬など

異物

- *異物が胃や腸にあると、嘔吐や下痢を起こします。

その他の病気

- *胃腸の炎症や閉塞、膵臓・肝臓などの疾患、腫瘍、免疫異常、神経異常など

治療

※全身症状(食欲不振、嘔吐、発熱、腹痛など)の有無によって異なります。

○全身症状がない場合

- ・12~24時間の絶食(嘔吐がなければ適当量の水はあげて大丈夫です)
- ・整腸剤、抗生物質、駆虫薬などの投与
- ・脱水があれば補液

○全身症状がある場合

- ・絶食させて、病院に連れて行きましょう
- ・点滴・補液で脱水を補う
- ・それぞれの原因に対する治療

○慢性的に下痢が続く場合

- ・食物アレルギー:食事の改善、処方食の使用
- ・整腸剤、抗生物質、駆虫薬、消化酵素剤などの投与
- ・脱水があれば補液
- ・それぞれの原因に対する治療

☆下痢をしている時は1回の食事の量を少なく、回数を多くして、なるべく小分けにしてあげましょう。

